

人口のうごき			
(12月1日現在 推計)			
	本 月	前月比	
男	37,699	8増	
女	34,798	3減	
計	72,497	5増	

世帯数	27,884	1減	



こまえ

発行 東京都狛江市
 狛江市和泉本町一丁目1番5号
 〒201 ☎430-1111

編集 企画財政部企画広報課

昭和60年 1月1日 438号



謹賀新年
 昭和六十一年元旦

昭和59年12月3日午前6時35分市庁舎屋上から撮影

市民のための市政推進

市長 石井三雄



新年あけましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、昨年中、市政発展のために賜りましたお力添えに対し厚くお礼申し上げます。

さて、日本経済の停滞、そして国家財政の危機などの影響により、地方財政はますます深刻

の度合いを深めているなか、新時代に即応した行政のあるべき姿について一段と論議が高まっていることは皆さまも御承知のとおりでございます。

狛江市におきましても例外ではなく、私は、こうした時こそ、地方自治の原点にかえて事務事業の見直しを行うとともに、諸施策をより計画的に進めることが必要であると考え、就任以来市議会とともに様々な角度から検討してまいりました。

こうした考えに基づいて本年は、小田急線の連続立体化や狛江駅北口周辺の整備事業並びに多摩水道橋の拡幅、福祉・教育・文化の充実など、諸施策を市民の御理解と御協力を得ながら積極的に推進してまいります。

また、行財政のより効率的な運営を図るため、当市の行財政の見直しを行う検討委員会を新年度早々にも発足させたいと考えております。

いずれの事業を実施するに当たりましても、皆さまから負託された責任の重大さを常に自覚して、市民のための市政を決断と実行をもって推進していく所存です。市民の皆さま並びに市議会の皆さまの、旧に倍する御指導・御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、市政に取り組む私の所信の一端を申し上げます。皆さま方のますますの御多幸と御健康を心から祈念いたしまして、私のあいさついたします。

市民生活の安定向上を

市議会議長 谷田部 啓治



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

市民の皆さまには、日ごろから市議会に対する温かい御理解と絶大なる御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

お蔭をもちまして昨年も着実に狛江市発展への基盤固めを進展させてまいりましたが、ここに新春を迎え、さらに一層の躍進を期して、清新の気がみなぎ

るのを覚えます。

最近の国の動向では、地方行政の強化とともに国庫補助の一律カットを打ち出し、地方負担転嫁が行われようとしております。これらはますます地方の財政事情が厳しさを増す前提ともなるものですが、このような極めて厳しい諸情勢の中にあつて狛江市は昨年夏、長年の懸案であつた体育施設整備のひとつである市民プールが完成し、関連施設である前面道路の安全設備が未整備ながらも事故もなく予想を上廻る利用率をあげることができました。

引き続き市民プールの隣接地では、昭和六十一年春の竣工を目指して、市民総合体育館の建設が進められております。また福祉・教育・文化等の施策の充実はもちろんのこと小田急線連続立体化や狛江駅広整備計画、それに第一小学校の移転、都市計画道路の整備、多摩水道橋の拡幅等も地域住民の御理解と御協力を得ながら事業の促進に鋭意努力を傾注してまいりる所存でございます。

私ども市議会といたしましては、市民生活の安定向上を図るため、今後とも創意工夫を重ね市民の皆さまの御要望にこたへよう決意を新たにしております。どうか本年も相変らぬ御支援と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆さま方の御多幸と御健康を祈念し、年頭のあいさついたします。

ウシ年生まれが語る

わが町 わが夢

昭和四十五年十月一日、町から市になったときの人口は六万人、現在の狛江市の人口は七万二千人です。市の面積は六・一五平方キロで全国六百五十一市中、埼玉県蕨市に次いで二番目に小さい市です。「水と緑の住宅都市」をキャッチフレーズに東京のベッドタウンとして発展してきました。市政施行十五年目を迎え、新年号では、「ウシ年生まれが語るわが町が夢」と題して年男、年女の方々に狛江市の印象や狛江の歴史、新年を迎えての抱負などを語っていただきました。なお、原稿をお願いした方は、居住地域や居住年数などを勘案し選ばせていただきました。

先人たちが築いたこの地を、第一のふるさとに、私は一人ひとりの生命を大切に、自己の開拓、家庭の開拓、市の開拓を共々心がけて参りたいと思います。(昭和39年転入、会社役員)

自然のやさしさに触れて

和泉本町 舟山 美紀 23歳



五年前宮城県から上京、知らない土地への不安と、明日からの生活への期待に胸弾ませた日々を思い出し、月日の早さに驚いています。

閑静で緑の豊かな町ーそれが、この町の第一印象でした。

キャンプのご飯たき

西和泉 藤原みく 11歳



り、ご飯をたきました。私の班は意外とうまくできました。テーブルは木を使って女の子三人で作りました。みんなとっても上手にやっていたのですが、私が一番下手でした。

なんとかテーブルを作りあげ、次は、ご飯作りです。私はかまど係でした。煙が目にしみて痛み、涙を流しながら火を燃やしながら、自然の持つやさしさに、落ち着いた雰囲気、この町のよさが感じられます。好きになつてきました。

年々自然が破壊され緑が失われていく中、これだけの自然を持つことはすばらしいことです。この自然を大切に守り続けてほしいと心から感じると同時に、商業面での充実を図り、よりいっそう住みやすい町にしたいと思っています。

(昭和55年転入、看護婦)

田んぼ広がる村から

中和泉 荒井 一 71歳



私が子どものころ、そして四十歳ころの狛江の様子をお話します。

多摩川住宅のある西和泉地域は、「千町耕地」と呼ばれ、一面たんぼが広がっていました。小学生のころ(大正十二、三年)

「どう」という筒のような道具を使って、たんぼのドジョウやウナギ、ナマズなどをよく取りました。また、多摩川での鮎釣りも楽しみの一つでした。五月ごろになると、小学生でも夕方一時間で十匹ほどの鮎を三十四匹近く釣ることができました。当時は、魚を取るという楽しみと同時に、ドジョウなどは、子ども同士で調布の魚屋まで持って行き、こずかいをつくるという楽しみもありました。一升餅で七、八杯も取れたドジョウを四十分近く歩いて売りに行く五十銭から一円にもなりませんでした。氷水一杯が五銭の時代でした。

たので、子どもにとっては大変なこずかいでした。

昭和三十年代には、現金収入を得るため、中和泉地域でも六七件の家で乳牛を飼っていました。朝食前、正午、そして夜の九時ごろの一日三回、三頭の乳をしぼり、約二斗五升(約四十五リットル)の牛乳を出荷していました。当時は冷蔵庫などありませんでしたので、前日しぼった乳を翌朝出荷するまで近くの根川(水源が湧き水のため大変冷た

大切な自然とのかかわり

東野川 高木能里子 35歳



私は狛江に生まれ育ち、市内に嫁ぎました。地方へ旅行して狛江と言ってもなかなか分かってもらえませんでした。何の変哲もない狛江市が、全国に知られるようになった大きな事柄、

豊かな歴史の中に

西野川 沼倉 松吉 47歳



雄大な多摩川、自然の中の郷土狛江に想いを寄せて謹んで皆さんとともに希望に満ちた新春を迎えられ心から感謝しています。

私は、狛江市に住んで感謝することが二つあります。一つには、狛江の農家の人たちの情緒豊かな気性が私の感性にと

も合うことです。もう一つにはお互いの人間性を尊重しあえる人たちが多数居住していることです。二十一世紀に想いをはせる、今こそ、古き良き伝統を

基盤に生命を尊重するという意識革命をする時代と考えます。

で、まず、教育、文化の発展を心から望んでおります。

狛江の歴史をひもとくと、百年以前は海であったそうです。数年前にも、砂れき層の中から

また縄文時代や弥生時代の土器や石器がたくさん発掘され、現在国立博物館に保存されているものもあります。兎塚、経塚などは、昔狛江百塚と言われた名

ごりをとどめ栄枯の往時をしのばせてくれます。

平安時代八世紀ごろの日本書紀、古事記や万葉集等の文獻にも狛江の里の記録があるよう

です。たま川に、さらす手づくり

さらさらに

なにかこの娘のこころ愛しき

平安時代の和名抄という文獻

都市農業を守り育てて

東和泉 谷田部友延

59歳

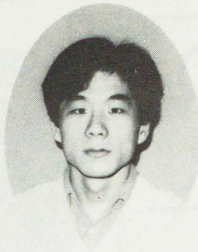


狛江は都心への交通の便も良いし、下水道や道路も整備されつつあり、また、多摩川という自然にも恵まれ、大変住みやすいところだと思っています。農家にとっては、農業だけで

夢の実現に向かって

猪方 竹内 裕和

23歳



私には、将来に対しての大きな夢がある。その夢をかなえるためにも、今年は私にとって大変大切な年になるだろう。いや、そうしなければいけない。

誰でも、自分の夢というものをいくつかは持っているだろうと思う。人間にとって大切なことだからだ。そして、それに向って努力する姿勢をいつでも持っていたい。それは、自分で決めたこと、いや決めるべきことであるので、途中で投げ出すような態度は絶対とりたくない。困難に打ち当たったからといって、投げ出すような夢なら、初めから持たない方がましだと思

もし、かなえられなかったと



世田谷通りの五十年

岩戸北 関 静子

59歳

私も、それは結果だけが問題にされるのではなく、それに対しての過程の方が問題にされるべきだ。だから、悔いの残るようなことのないように、この一年を、いや、一生を送っていきたいと思う。自分の夢に向かって少しずつでもいいから着実に進んでいきたいと思う。

(狛江生まれ、学生)

私が、世田谷通りに面した家もまばらな狛江村岩戸に移り住んだのは昭和六年のことでした。昭和十年ごろのことです。夜明けとともにガタゴトと荷車の

宅地から排出される下水が農業用水に流れ込み、たんぼが洗たくのあわだらけになるなど、水田耕作が難しくなりました。

野菜づくりも行っていますがトラクタ輸送の発達で近郊の野菜がたくさん市場に入るようになり、昭和五十年頃からは、緑化推進に協力できる植木栽培にも力を入れるようになりました。

当時、近くは埼玉、神奈川、遠くは岐阜県の方まで苗を買い付けに行きましたが、その苗が三

はほどに成長した現在、残念ながら植木の需要が減りつつあり少々重荷になっています。

小規模開発による宅地化では

思うものだろう。そして、その一年が終ろうとするときになり「あゝときはあゝしておけば良かった」などという悔やむことがあると思う。

私の場合も、今までに、何度か経験したことがある。そのような思いを少しでも減らすために、いつでも前向きな姿勢でいたいと思う。自分の夢に向かって少しずつでもいいから着実に進んでいきたいと思う。

便利さより自然が勝る

元和泉 梶村 良一

35歳



今まで、自分や家族と地域のつながりについて考えることもなく過ぎてきたように思う。

五年前に渋谷区笹塚から三人家族で狛江に越して来た。それまでは買い物や通勤に便利だとい

うので笹塚を非常に気に入っていた。緑が少なく、物事などほとんどが、多摩川の土手沿いに住んだが、自然環境に恵まれるというところが、便利さに恵まれる

ということよりもすばらしいことに気がついた。

特に三人世帯から四人世帯に

夏にホテルが飛び、夏には子どもたちが水浴びを楽しみ、道路で甲子干しをしていました。夏の夜の縁台将棋や花火には近所の人たちが集まっていたにやかな

ものでした。

戦争が始まり、木炭車が走り兵馬の行軍が激しくなると道は荒れ放題となり「玄海灘」と新聞に書かれるほどのいやな時代でした。

世相も変わり、走る車も変わりましたが、喜びも悲しみも人と道は分かち合っていました。今は川も埋められ、道幅も広くなり、昼夜の別なく車が走り交通事故の多い道になってしま

いました。安全を願ひ、自然を育て人と共存できる道路になっ

てほしい、それが町の発展にもつながるのではないのでしょうか

(昭和6年転入、主婦)

小枝の先のクワガタ

岩戸南 吉田 賢司

11歳



ぼくは、一年生のとき、中野区から狛江市に引っ越して来ました。中野区に住んでいたときは、電車の音がうるさくて家に居ても落ち着きませんでした。

でも、それに慣れてしまっていたので狛江に来たときは、周囲が大変静かで、かえって調子がくるってしま

った。

狛江市は緑や木がたくさんあって、また、昆虫などもたくさんいます。ぼくは、あるとき、学校の校庭のすみで小さな穴を見つけた。いたずらのつもりでその穴に小枝を入れてみ

た。すると何か真黒いものが先に、くっついてくるのです。

びっくりしてよく見ると、なんとノコギリクワガタだったのです。ぼくは、うれしくなって、そこをシャベルで掘ってみると今度は小さいクワガタが見つかりました。ぼくはこんなところにクワガタがいるなんて信じられませんでした。

うわけにはいかないが、なるべく長く住みたいものである。最後に、ぼくは、私の今年の抱負は、すでに長男(六歳)に追い抜かれてしまっ

た読書を挽回することである。もうひとつは、レジャーのなかに足を鍛えることを取り入れて、健康の増進に役立てることである。

(昭和55年転入、公務員)

だんだん地域とのつながりができてきているようであるが、市政への関心は自分の中では、まだまだ低いようである。我が家は公舎なのでここに永住とい

うわけにはいかないが、なるべく長く住みたいものである。最後に、ぼくは、私の今年の抱負は、すでに長男(六歳)に追い抜かれてしまっ

た読書を挽回することである。もうひとつは、レジャーのなかに足を鍛えることを取り入れて、健康の増進に役立てることである。

生きがいを見つけ

駒井町 小川 春子

47歳



狛江市は多摩川をはさんで神奈川県と接し、多摩丘陵の彼方には富士山をも望めます。市内は、寺社や屋敷森の緑に恵まれ緑道なども整備されつつあ

って、四季折々の風情が楽しめる、豊かな自然環境の中にあるというのが私の印象です。

私が狛江市に住み始めた昭和三十八年ごろは、まだ田畑がたくさんありました。水田の早苗を植えるころのカエルの合唱は夜通しで、それも騒音とは思

なかつたように憶えています。小川が流れ、野道に咲く野草も色鮮やかでどこかにのどかな田

園風景が残っていました。今は住宅化が進み、人口の増加と共に、この地区にも学校が建ち、

「四番目」という「南部地域センター」が昭和五十八年にでき、地域活動も活発になって今はとても満足です。

私も四十歳を過ぎたところであり、人生の一つの区切りを迎えたと考えておりました。何か生きがいになるものを見つけたいと思っています。今年こそ何かが見つかると期待をふくらませて……、これからも狛江市の発展を心からお祈りいたします。

(昭和38年転入、主婦)

七日は消防団の出初式



放水訓練やまとい演技

— 第八小学校校庭 —

狛江市消防団出初式を一月七日(月)午前十時から第八小学校校庭で行います。消防団は、石黒昭平団長以下百八名が、生業のかたわら地域の火災予防、火災警戒、火災鎮圧にあたっています。

会場では消防団員の入場行進、小隊操縦、応急救護訓練、ポンプ操作による放水、昨年に続き北陸第二区五番組による木遣(きやり)、綱(まとい)の演技等が繰り広げられます。市民の皆さまも多数ご参観ください。なお、当日は午前七時三十分から一分間、団員召集のため市内各消防団器具置場のサイレンを鳴らします。

さあ！新春のロードレース

体調調整して参加を



狛江市体育協会では、第十五回狛江多摩川ロード・レースを教育委員会・毎日新聞社の後援、市陸上競技協会の運営で次のとおり開催します。

〔開催日〕一月十五日(祝)雨天の場合二月十一日(祝)

〔コース〕多摩川通称五本松を登着とする多摩川土手の主走路(距離と種別)

五キロ ①小学生の部(五・六年生) ②中学生の部 ③女子の部

十キロ ①一般男子Aの部(六十歳以上三十五歳未満) ②一般男子Bの部(三十五歳以上五十歳未満) ③壮年の部(五十歳以上)

〔受付〕当日午前九時から西河原公園で(参加費)小・中学生五百円、一般二百円

なお、出場者は体調を整えて参加してください。ケガの応急処置はしますが、責任は負いかねます。

詳細は体協事務所(四八〇一六二二一・水・土)へ。

公開講座「青年のための心理学」

狛江市青年学級「心の科学」コースでは、私たち自身のよりよく理解にむけて講師をまじえて考え合う公開講座「青年のための心理学」を実施してきました。今回は最終回です。お気軽にご参加ください。

〔日時〕一月十日(木)午後七時から九時三十分

〔テーマ〕人格の発達と人間関係

成人おめでとう 15日・福祉会館で

一月十五日は成人の日です。この日は大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますための日です。

市では、成人となった方をお祝いする式典と狛江市少年少女合唱団の演奏を十五日午前十一時から午後一時三十分の二回に分けて、福祉会館で行います。

伊豆こまえ荘

ことしもおご利用ください

昨年中は「伊豆こまえ荘」をご利用いただき、ありがとうございました。

「伊豆こまえ荘」は、緑豊かな別荘地内にあり、一年を通して温暖な気候に恵まれた保養地です。海や山の自然に浴び込んで、心の休養を取ってみてはいかがでしょうか。

昨年同様、今年も「伊豆こまえ荘」をお気軽にご利用ください。詳細は市民課へ。

福祉関係の両氏に知事表彰

身体障害者が自立更生し、ほかの障害者の模範となるような人と身体障害者及び精神薄弱者の更生援助に尽くした功績が特に著しいと認められた次の方々が知事表彰を受けられました。

自立更生者

荒井久氏(五十歳、和泉町四一七三三六三〇八) 両側感音性難聴の障害を克服し、企業でコンピュータ操作による機械作業に従事、狛江市身体障害者相談員など地域福祉でも活躍されています。

更生援助功労者

秋田晴美氏(五十六歳、岩戸南三十四一四十四、通所授産施設おさなご園作業所施設長) 永年にわたり障害者の心の支えとなるような施設づくりを目指している功績により受賞。

両氏は、昨年十二月六日、東京厚生年金会館で行われた「ふれあい共栄祭」の満席の会場で都知事代理者から一人ひとり賞状を受賞、スライドで活動を紹介されて、大きな拍手を受けました。



会員募集 狛江俳句会では、同好者の入会を歓迎します。1月13日(日)午後1時から岩戸地域センターで新年句会を行います。どなたでも近作五句を持ってご出席ください。指導は平田拾穂先生。詳細は猿渡(480-0703)へ。

スケート スケート愛好会では、1月13日(日)午前7時から10時まで早朝スケートを楽しませます。詳細は市民課へ。

一月の図書館

子どもおはなし会

▽中央図書館 毎週水曜日午後三時から

▽福祉会館分館 一月二十日(日)午後三時から

▽野川分館 一月十九日(土)午後三時から

▽岩戸分館 一月十九日(土)午後三時から

▽南部分館 一月十二日(土)、二十六日(土)午後三時から

子ども映画会

▽上和泉分館 一月二十六日(土)午後二時から三時から

▽南部分館 一月十九日(土)午後三時から「おこりじょう」上映三十分

タコ作り講習会

中央図書館では、一月二十日(日)午後二時から市民センターでタコ作り講習会を行います。対象は、小学校二年以上、定員二十名です。一月五日(日)から募集しますが定員になり次第締め切ります。

たこあげは電線のないところで

相談



TEL (430) 一一一

- ◆法律相談 7日(月) 10日(木) 14日(月) 午前9時～正午
 - ◆交通事故相談 8日(火) 午後1時～4時
 - ◆税務相談 10日(木) 午後1時～4時
 - ◆不動産取引相談 11日(金) 午後1時～4時
 - ◆高齢者無職職業紹介出張相談 8日(火) 午後1時30分～3時30分。第二市民相談室。受け付け厚生課
 - ◆ガス・電気相談コーナー 8日(火) 午後1時～4時。市民ホール相談コーナー
 - ◆ろうあ者相談 5日(土) 午前9時～11時。福祉事務所。当日は手話通訳がつかいます。
 - ◆母子相談 木・土曜日を除く毎日午前9時～正午。福祉事務所
 - ◆児童・少年相談 毎週木曜日午前9時～正午。福祉事務所
 - ◆教育相談 毎週木・金曜日午前9時30分～午後5時。福祉会館。対象は幼児・中学生。受け付けは指導室
 - ◆女性の悩みごと相談 毎週水曜日午前10時～正午。上和泉地域センター。受け付けは公民館上和泉分館
 - ◆心配ごと相談 毎週水曜日午後1時～3時。福祉会館内社会福祉協議会事務局
 - ◆高齢者就業相談 毎週木曜日午後2時～4時。福祉会館内高齢者事業団事務局
- ### 保健衛生だより
- ◆健康相談 7日(月) 午後1時～3時。第二市民相談室。受け付けは当日保健衛生課へ。
 - ◆狛江保健相談所からのお知らせ(480-5351)
 - ◆成人健康相談 毎週火・木曜日午前9時～10時30分
 - ◆精神衛生相談 心の悩み、心配ごとでお困りの方予約制です。電話で申し込みを。
 - ◆4か月児健診 16日(水) 受け付けは午後1時から。対象は59年9月中の出生者。
 - ◆3歳児健診 10日(木) 受け付けは午後1時から。対象は56年11月中の出生者。
 - ◆育児相談 9日(水) 午前9時～10時30分。子どもの発育、離乳の相談。電話で予約してください。
 - ◆母親学級 毎月第1・4金曜日午後1時10分～4時。第1週目から出席してください。
 - ◆風しん抗体検査 8日、22日(火) 午前9時～10時30分。対象は妊娠予定者。料金720円。
 - ◆リハビリテーション教室 11日、18日(金) 午前10時から。

保育園の受け付け 8日から

昭和六十年年度保育園入園(更新)申請受付を次のとおり行います。入園対象は、母親が昼間働いていたり、母親の出産、病

気または離別などの理由により保育に困りの家庭の乳幼児です。

【受付期間】一月八日(火)から十六日(水)午前八時三十分から午後五時まで(日・祝日を除く、土曜日は正午まで)

学童保育所は十日から

昭和六十年年度学童保育所入所申請の受付を次のとおり行います。

【受付期間】一月十日(木)から二十四日(木)午前八時三十分から午後五時まで(日・祝日を除く、土曜日は正午まで)

事業資金あつせん 年利は5・5%

市では、市内の商工業や農業を営む人を対象に、資金の融資あつせんを市の特定金融機関の協力を得て行っています。

この制度融資を利用できる方は、市内に引き続き一年六か月以上在住し、都内(法人の場合は市内に主たる事務所を有していること)で一年以上同一事業を営んでいて、所定の納税義務

を営んでいて、所定の納税義務を営んでいて、所定の納税義務

工業統計調査にご協力ください

通産省所管の昭和五十九年工業統計調査が実施されます。本年度は、従業員四人以上の事業所(製造を行っている特定業種を除く)を対象に、工業の実態を明らかにすることを目的として行われます。

また、工業と並行して従業者三十人以上の事業所においては石油等消費構造統計調査も実施されます。これら調査の結果は、製造業活動並びに総合エネルギー政策を円滑に遂行するための基礎資料として国民生活の広い分野で活用されます。

詳細は文書課へ。

学童保育所一覧

上和泉	和泉本町 4-7-51 上和泉地域センター
猪 方	猪方 1-11-2 第三小学校校庭内
和 泉	中和泉 3-12-6 和泉児童館内
松 原	和泉本町 1-23-16

保育室のご案内

市内には、働くお母さんのために、産休明けから乳幼児をお預かりする施設があります。

予防接種のお知らせ

麻疹(はしか)の予防接種についてのお知らせは一月十五日号に掲載します。

償却資産の申告

昭和六十年一月一日現在に、固定資産税の課税対象となる償却資産を所有している事業者は一月三十一日までに必ず申告をしてください。なお今年度は基準年度に当たりますので全資産申告をしてください。

献血推進強調週間 1/7~2/6

寒い冬は献血者が減少します。みなさまの温かいご協力をお願いします。

今月の市内献血場所は▽五日(土) 狛江駅前口
▽九日(土) 狛江団地自治会事務所前
時間は午前10時から午後三時までです。詳細は厚生課へ。

消費者コーナー

家計簿記帳の効用

▽暮らしの記録として役立つ▽現金管理を正確に行うことができる▽二重払いなどの支払い上のトラブルを防止できる▽所得税確定申告の際、所得控除の証明資料となる▽過去の実績を参考に、上手な買物ができる▽社会経済問題への関心も高まる。家計簿なんか……と、お考えの方、今年から家計簿を記帳してみてはいかがでしょうか。

有害ゴミ(乾電池・体温計・蛍光管)は不燃ゴミ収集日に分けて出しましょう

今月の休日診療

- ▽1日 川島医院 猪方3-31-15(猪駒通り和泉幼稚園裏) 電話480-8734。▽神保医院 和泉本町1-2-13(駄倉交差点東側) 電話489-1005
- ▽2日 佐藤診療所 東和泉1-3-14(狛江農協並び) 電話489-1771。▽一井小児科 西野川1-21-8(神代団地隣) 電話480-1506
- ▽3日 岡本診療所 岩戸北4-17-14(二の橋交差点付近) 電話480-1933。▽岩下医院 中和泉5-20-11(第四小学校付近) 電話489-3577
- ▽6日 小幡医院 猪方3-24-5(八千代信用金庫付近) 電話489-6005。▽13日 永井医院 和泉本町2-19-11(第一中学校裏) 電話489-4395
- ▽受付時間は午前9時~11時30分、午後1時~4時30分。問い合わせは市役所へ。夜間診療と歯科診療は、東京消防庁テレホンサービス(212-2323)、都衛生局夜間診療案内(216-4828)へ。

児童館だより

火曜日 休館日

- ◎岩戸児童館(489)5414
- ◆ゲーム教室 12日(土)午後1時30分~3時。内容は将棋、オセロ、五目並べ。対象は小中学生。
- ◆幼児のつどい 1月は18日(金)から再開。
- ◎和泉児童館(480)1441
- ◆ゲーム大会 12日(土)午後1時30分~3時。内容はオセロ・将棋のトーナメント方式による試合。対象は小中学生。
- ◆ゲーム遊び 13日(日)午後2時~4時。内容はレクリエーションゲーム。対象は小中学生。
- ◆図書貸出中止のお知らせ 5日(土)~26日(土)まで図書整理のため貸出を中止します。

日曜祝日の指定水道工事店番

- ▽1日(火) 和泉工業所(480-2015)▽2日(水) 池田配管建設工業(489-0733)▽3日(木) 小野設備工業所(480-7011)▽6日(日) 絹山工業所(489-1798)▽13日(日) 15日(火) 信和住宅設備(489-9901)

市民体育施設申込受付

市民体育施設(市民テニスコート、市民グラウンド等)の二分申込受付は、1月5日(土)午前8時30分までに来庁された方で抽選を行います。詳細は社会教育課へ。

今月は市民税・都民税第四期分、国民健康保険税第九期分の納期です

一月のゴミ収集は、四日(金)から平常どおり収集します。ゴミ収集日の朝八時までに他人に迷惑をかけないようルールを守って出してください。

＜不燃ゴミ・有害ゴミ＞			＜可燃ゴミ＞		
収集日	収 集 地 区	開始日	収集日	収 集 地 区	開始日
金	猪方・東和泉の全域	4日から	月・水・金	東野川・西野川・和泉本町 岩戸北の全域と 中和泉1・2・5丁目	4日(金)から
土	岩戸北の全域と 中和泉1・2・5丁目	5日から	火・木・土	東和泉・西和泉・元和泉 岩戸南・猪方・駒井町の 全域と 中和泉3・4丁目	5日(土)から
月	岩戸南・西和泉の全域と 中和泉3・4丁目	7日から			
火	西野川の全域と 和泉本町3・4丁目	8日から			
水	駒井町・元和泉の全域	9日から			
木	東野川の全域と 和泉本町1・2丁目	10日から			

◎し尿および粗大ゴミの受付は1月4日(金)からです。

ふるさと歳時記

昭和59年写真集から

新年明けましておめでとうございませう。一年の計は元日にありと申します。市民の皆さんには新たな抱負を胸にこの日を迎えられることと思います。

未来への夢を大きく広げていただくことはもちろんですが、また一つ年輪を重ねたわけですから、過ぎし日をも振り返って明日への糧にしたいものです。さて、昨年一月一日から十一月三十日まで生まれて市民になった赤ちゃんは七百七十八人。この狛江を最初の「ふるさと」にした生命が誕生しています。四季折々風情を変えていざなり多摩川や心なごむ西河原公園、野川緑地公園の緑の中で大きく成長していくことを願っています。昭和五十九年の写真集から、わたしたちの「ふるさと狛江」の風景、風物をピックアップしてみました。あなたの見なれた景色や新しい発見をするような場所などがあるのではないでしょうか。



春の西河原公園

西河原公園が完成したのは昭和51年です。木々もすっかりこの地になじみ、市民の憩いの場として、

四季を通じて南側の多摩川、五本松とともに訪れる人が絶えません。(昭和59年5月5日撮影)



網打ち解禁

6月8日、日の出とともに約一時間、天然アユ3匹等が漁果。なお、昨年12月、多摩川を市民の憩いの場として保持する永年の活動に対し、多摩川漁協の松坂仙蔵、

本橋弘安両氏に感謝状が贈られました。

桜花らんまん

例年よりほぼ一週間遅れの開花でした。昨年四月十九日撮影。西河原、多摩川住宅です。市内

にはこのほか、西河原公園、野川緑地公園、狛江都営団地などの桜が見事です。特に、西河原公園多摩川寄りでは花見の輪が行われていました。



花火大会と とろろ流し

狛江の夏の風物詩「第十六回花火大会」と「とろろ流し」が八

月六日に和泉多摩川の河原で行われました。薄暮の多摩川に揺れる千五百基の灯ろう、続いて千七百発の打ち上げ花火、そして仕掛け花火。しばし暑さを忘れさせる歓声が続きました。



万葉歌碑

「多摩川にさらす手づくり……」昨年五月八日撮影のもの。



市民プール

待望の市民プールがオープンしました(7月8日)。好天に恵まれ8月31日まで、一日の清

掃日を除いて54日間開設しました。延約6万1千人の市民が利用。期間中の落し物は約400点ありました。



市民まつり

ふれあう心で、豊かなまちをのキャッチフレーズで、もう八

回目を迎えた市民まつりです。十一月十八日、錦秋の西河原公園、狛江第八小学校などを中心に、多彩な催しを展開、五万五千人の入場でにぎわいました。



雪の泉竜寺

昨冬は何十年ぶりと言わ

れる大雪でした。59年1月17日撮影です。



メモ(昭和五十九年)
1月7日 出初式。14日 駒井町でどんど焼き。15日 成人式。ロードレース。
3月3日 ボランティアの集い
4月 市役所の電話番号が変わる。430-1111に。有害ゴミの分別収集始まる。
5月 国民年金出前講座スタート。11月23日 わんぱく駅伝
ト。9日 ショートステイ事業。11月25日 総合水防訓練。
6月5日 環境週間行事。
7月1日 市長選挙
9月1日 総合防災訓練
10月5・6日 リサイクルまつり、消費者展
14日 市民大運動会。